

平成31年度（令和元年度） 学校教育目標の構想図

経営の基盤 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 くまもと「夢への架け橋」教育プラン 人権教育取組の方向 義務教育課取組の方向 県関係各課取組の方向 山鹿市図・学校教育指導の重点	校 訓 認め合い 高め合い 助け合う	山鹿市の教育目標 日本一の学園都市「やまが」を目指したさらなる校務改革、授業改革、中学校区の学園化の推進 地域・学校・児童の実態 地域・保護者の願い 今日的教育課題 中学校区の課題	
	学校教育目標		
	家庭・地域と連携し、心豊かに自ら学び、心身ともにたくましい三岳っ子の育成		

学校経営方針
○人権尊重の精神を基盤にして、一人一人を大切に、認め、ほめ、励まし、伸ばす教育を展開し、徳・知・体の調和がとれ、心豊かにたくましく生き抜く力を備えた児童の育成に努める。 ○一人一人の児童の実態を的確に把握し、UD化の充実と合理的配慮の確実な提供を行うとともに、主体的・対話的で深い学びの授業の実現を図る。 ○命を預かる・守る意識を高め、安心・安全な学校を維持するとともに、児童に望ましい生活習慣、学習規律の定着を図る。 ○家庭・地域・中学校区との連携・協働を図り、地域に信頼される学校づくり、中学校区の学園化に努める。 ○三岳小スローガン「心をこめて（本気）」、合い言葉「にこにこ（心）・はきはき（学力）・きびきび（体力）」を掲げ、児童の生き抜く力を高める。

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
1 温かな心を育てる学校 豊かな感性と人権感覚をもった思いやりのある学校 2 きめ細やかな学校 一人一人を大切にし、学力、体力を高める学校 3 信頼される学校 家庭・地域と連携・協働を密に真心を持って接し、信頼され誇れる学校	にこにこ、はきはき、きびきびしている子ども 1 豊かな心(徳)「にこにこ」心を磨き、思いやりあふれる子ども 2 確かな学力(知)「はきはき」思考力・判断力を培い、自己表現できる子ども 3 たくましい体(体)「きびきび」健康で、我慢強くやる気のある子ども *スクールプライドをもつ児童	1 教育的愛情と豊かな人権感覚で接し、子どもから信頼される教師 2 実践力、行動力のある教師 3 熱意と誠意で対応し、保護者や地域の信頼に応える教師 *スクールプライドをもつ教師

豊かな心の育成(徳)	確かな学力の育成(知)	たくましい体の育成(体)
1 人権尊重と温かい心を育てる学級・授業・環境づくり 2 基本的な生活習慣の定着(早寝・あいさつ・朝ごはん等) 3 道徳的問題と向き合い、考え議論する道徳授業の実践 4 いじめ・不登校の未然防止と解消 5 命の大切さ、規範意識、危機管理の向上 6 学校・地域を誇りに思う体験活動の充実(ボランティア活動、地域との連携・協働)	1 学習規律(態度)の徹底と定着 2 授業改革(主体的・対話的で深い学びに向けて) ・めあてとまとめの徹底 ・学び合いのある授業の充実 ・UD化の授業実践の充実 3 合理的配慮の確実な提供 4 質の高い読書に向けた実践とそよのための環境整備 5 学校総体としての学力向上の検証・改善(各種調査結果、校内研究からの課題改善) 6 個に応じた家庭学習の提供と習慣化の徹底	1 体育授業での指導の工夫と運動量の確保 2 全校体育の工夫と外遊びの奨励 3 防災・安全教育の充実(危険予測・回避能力等の育成) 4 健康教育の充実(就寝時間・ノーマディア、治療等の啓発) 5 給食指導の徹底と食育の充実 6 我慢強くあきらめない心を育てる指導の充実(学級活動、児童会活動、特別活動等の工夫)